

CS1642A/CS1644A

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、CS1642A/CS1644A 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2014 年 7 月 22 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②液晶ディスプレイ搭載製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	2年以上	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。

【補足】

- 本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- 初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行います。それにも係わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を、必ずしも満たすものではございません。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定	ii
製品についてのお問い合わせ	v
EMC 情報	4
RoHS.....	4
SJ/T 11364-2006.....	5
安全にお使い頂くために.....	6
全般	6
同梱品.....	8
本マニュアルについて.....	9
マニュアル表記について.....	10
第1章 はじめに.....	11
概要.....	11
特長.....	13
システム要件.....	15
コンソール.....	15
コンピューター	15
ケーブル	15
OS.....	16
製品各部名称	17
CS1642A フロントパネル	17
CS1644A フロントパネル	18
CS1642A リアパネル	21
CS1644A リアパネル	21
第2章 セットアップ	23
ケーブルの接続.....	23
接続図	25
クワッドディスプレイ(DCC モード)	26
クワッドディスプレイ接続図	27
第3章 基本操作.....	28
手動切替.....	28

ホットプラグ	29
電源 OFF および再起動	29
ポート ID の割り当て	30
第 4 章 キーボードによるポート操作	31
ポート切替	31
ポート切替(サイクル切替)	31
ポート切替(ダイレクト切替)	32
オートスキャン	33
ホットキーセッティングモード	34
ホットキーセッティングモードの起動	34
ホットキーセッティングモードの起動代替キー	35
ポート切替の代替キー	35
キーボード設定	36
ホットキー設定の表示	36
USB リセット	37
ビープ音の設定変更	37
ポート切替ホットキーの無効化	37
ファームウェアアップグレードモード	38
デフォルト設定の復元	38
ビデオダイナシンク機能	38
キーボードエミュレーション	39
マウスエミュレーション	39
マウスによるポート切替	39
SPC モード	39
フロントパネルプッシュボタン 1 と 2	40
フロントパネルプッシュボタン 3 と 4	40
ホットキーセッティングモード一覧	41
第 5 章 キーボードエミュレーション	43
Mac キーボードエミュレーション	43
Sun キーボードエミュレーション	44
第 6 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	45
アップグレードの前に	45
アップグレードの開始	46
アップグレードに成功した場合	49
アップグレードに失敗した場合	50
付録	51

製品仕様.....	51
トラブルシューティング	53
概要	53

EMC 情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class A の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、商業目的の使用において、有害な障害が発生しないよう、基準に沿った保護を提供する為のものです。

この操作マニュアルに従わずに使用した場合、本製品から発生するラジオ周波数により、他の通信機器に影響を与える可能性があります。

また、本製品を一般住宅地域で使用した場合、有害な電波障害を引き起こす可能性もあります。その際には、ユーザーご自身の負担で、その障害を取り除いてください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

CE による注意:本製品は Class A に準拠した製品です。本製品をご家庭で使用した場合、電波干渉を引き起こす可能性があります。その際は、ユーザーご自身にて、適切な処置を行ってください。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。

SJ/T 11364-2006

The following contains information that relates to China.

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅	汞	镉	六价铬	多溴联苯	多溴二苯醚
电器部件	●	○	○	○	○	○
机构部件	○	○	○	○	○	○

- : 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在SJ/T 11363-2006规定的限量要求之下。
- : 表示符合欧盟的豁免条款, 但该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。
- ×: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出SJ/T 11363-2006的限量要求。



安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱する恐れがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ 電源コンセントの形状が異なりプラグを接続できない場合には電気事業者に問い合わせる適切な処置してください。アース極を無理に使用できない状態にしないでください。使用される国/地域の電源形状に従ってください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 電源の延長コードや電源タップを使用する場合は、合計容量とコードまたはタップの仕様が適合していることを確認してください。電源コンセントにつながれている製品全ての合計アンペア数は 15 アンペアを超えないようにしてください。
- ◆ 突然の供給電力不安定や電力過剰・電力不足からお使いのシステムを守るために、サージサプレッサー、ラインコンディショナー、または無停電電源装置(UPS)をご使用ください。
- ◆ システムケーブルや電源ケーブルは丁寧に取り扱いってください。これらのケーブル類の上には何も置かないようにしてください。

- ◆ 危険な電圧ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットのスロットには何も挿入しないでください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントをはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)
 - 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 技術サポートの修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

CS1642A/CS1644A 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ CS1642A/CS1644A デュアルディスプレイ/オーディオ対応
2/4ポート USB KVMP スイッチ ×1
- ◆ (CS1642A)USB DVI-D デュアルリンクケーブル(2L-7D02UD) ×2
- ◆ (CS1642A)DVI-D デュアルリンクケーブル ×2
- ◆ (CS1644A)USB DVI-D デュアルリンクケーブル(2L-7D02UD) ×4
- ◆ (CS1644A)DVI-D デュアルリンクケーブル(2L-7D02UD) ×4
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ 多言語版クイックスタートガイド ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、CS1642A/CS1644Aに関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。

マニュアル構成は下記のようになっています。

- 第1章 はじめに:** CS1642A/CS1644A を紹介します。特長および機能の概要および製品各部名称について説明します。
- 第2章 セットアップ:** 基本的なハードウェアセットアップの手順から、ダイジーチェーン接続する方法まで、CS1642A/CS1644A のセットアップについて説明します。
- 第3章 基本操作:** CS1642A/CS1644A の機能概要および操作方法について説明します。
- 第4章 キーボードによるポート操作:** CS1642A/CS1644A のホットキー操作に関する機能概要、および操作手順について説明します。
- 第5章 キーボードエミュレーション:** Mac キーボードのエミュレーション、また、Sun キーボードのエミュレーションについて対応表を用いて説明します。
- 第6章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:** お使いの CS1642A/CS1644A のファームウェアを最新のバージョンにアップグレードする方法について説明します。
- 付録** 製品の仕様および関連する技術情報や操作方法について説明します。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]は**エンター**キーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl + Alt]のように表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

CS1642A/CS1644A は、2 ポートの USB2.0 ハブポートを搭載し、DVI デュアルディスプレイに対応している KVM(キーボード・ビデオ・マウス)スイッチに革新的な方向性を打ち出した 2/4 ポート KVM スイッチです。2 台の DVI 対応ディスプレイを接続することができるので、グラフィックデザイナーや金融・経営コンサルタント、医療関係者、ゲーマー等のユーザーに適した製品です。また、本製品は 2.1ch サラウンドオーディオシステムに対応しているので、ビデオ再生を活性化させるシアターデジタルオーディオを体験することができます。

KVM スイッチとしては、ユーザーは、本製品を使用することによって、1 箇所のデュアルディスプレイコンソール(USB キーボード、USB マウス、DVI 対応モニター2 台)から最大 4 台のデュアルディスプレイ対応コンピューターを切り替えて操作することができます。また、USB2.0 ハブ機能としては、ポートに接続された USB デバイスを各ポートに接続されたコンピューターで共有し、切り替えて使用することも可能です。さらに、クワッドディスプレイ機能を使用して、2 台の CS1642A/CS1644A をダイジーチェーン接続し、セカンドデュアルディスプレイをセットアップすることで、シングル接続からマルチビュー KVM コンソールへと拡張させることができます。

本製品は KVM、USB、オーディオをそれぞれ個別に切り替えられるのが特長で、あるコンピューターを操作しながら、別のコンピューターで USB デバイスを操作することができます。これによって、USB ハブやスタンドアロンのデバイス共有器を購入する必要がなくなります。

本製品は旧設計の DVI コネクターを改良し、キーボードやマウスの信号は高速で信頼性の高い USB 接続によって転送を行っています。DVI は、デジタルビデオ出力(フラットパネルディスプレイ、プロジェクター、プラズマディスプレイ、デジタルテレビ、セットトップボックス等)、およびアナログビデオ入力(従来式のモニターやテレビ)に対応しています。

さらに、本製品は 2.1ch サラウンドオーディオシステムを搭載していますので、製品に接続されたマイクから両方のコンピューターに音声を入力することも、また、製品に接続されたスピーカーを使って両方のコンピューターの音声を出力することも可能です(ただし、1 回に出力できる音声は 1 台のみ)。先にも述べたとおり、USB デバイスと同様、オーディオも KVM と個別に切り替えることができます。

セットアップは必要なケーブルを適切に接続するだけです。簡単で時間もかかりません。ソフトウェアのセットアップが不要なので、定期的なメンテナンスの手間もいらず、互換性の問題に悩まされることもありません。また、本製品はキーボードからの入力を直接受信しますので、様々なプラットフォーム(PC 互換機、Mac、PowerPC、Sun Microsystems SPARC)のコンピューターを接続して使用することができます。コンピューターの切替は、製品フロントパネルのポート選択ボタン、マウスやキーボードからのホットキーの入力によって簡単に実行できます。

特長

- ◆ USB2.0 対応 2.1ch サラウンドオーディオシステム搭載 2/4 ポート DVI デュアルディスプレイ KVM スイッチ
- ◆ デュアルディスプレイ対応 USB コンソールから 2/4 台のデュアルディスプレイ対応コンピューターと 2 台の USB デバイスの切替操作が可能
- ◆ 2 ポート USB2.0 ハブポート搭載
- ◆ USB2.0 仕様準拠
- ◆ ベースレスポンスに優れた 2.1ch サラウンドオーディオ出力
- ◆ KVM、USB、オーディオは個別切替可能
- ◆ デュアルディスプレイ - 2 台の CS1642A/CS1644A を簡単に接続して、セカンドデュアルディスプレイをシングルコンソールから操作することが可能
- ◆ DVI デジタル/アナログディスプレイ対応 - DVI 仕様準拠、HDCP 準拠
- ◆ 解像度 - 2,560×1,600@60Hz(DVI デュアルリンク)、3D ディスプレイは最大 1,920×1,200@120Hz(DVI デュアルリンク)、低いリフレッシュレートでは最大 3,840×2,400
- ◆ ワイド画面对応
- ◆ コンピューター切替方法 - フロントパネルのプッシュボタン、ホットキー、マウス*
- ◆ カスタマイズ可能なプッシュボタン - お好きなホットキーをフロントパネルから使用可能
- ◆ マルチプラットフォーム対応 - Windows 2000/XP/Vista、Linux**、Mac、Sun、FreeBSD
- ◆ コンソールマウスポートエミュレーション/バイパス機能 - 多機能マウス対応
- ◆ ビデオダイナミック(ディスプレイエミュレーション) - コンソールディスプレイの EDID を保存し、解像度を最適化
- ◆ 電源検知機能 - 1 台の DVI ソースデバイスの電源が OFF になると、CS1642A/CS1644A は自動的に次の電源の入ったデバイスに切替
- ◆ キーボードエミュレーション機能 - 選択されていないポートのコンピューターもエラーなく起動
- ◆ Sun/Mac キーボードエミュレーション対応***
- ◆ 多言語キーボードマッピング対応 - 英語、日本語、ドイツ語、フランス語キーボード対応
- ◆ オートスキャンモード - 製品に接続されたコンピューター全てを自動的に切替表示
- ◆ ファームウェアアップグレード可能

* マウスによるポート切替機能は、マウスエミュレーション機能が有効で、3 ボタンスクロールホイールマウスを使用時にのみ有効です。

** Linux はカーネル 2.6 以降のバージョンに対応しています。本製品には USB2.0 ハブポートを搭載しておりますので、USB2.0 に対応していない PC や OS はサポート対象外となります。

*** PC/AT 互換キーボードでもキーの組み合わせで Sun/Mac キーボードの特殊キー入力ができます。
Mac・Sun 用キーボードも使用可能です。(Windows マシンでは特殊キーが効きません)

システム要件

コンソール

- ◆ 最も高い解像度の画面を表示できる DVI 対応モニター(2 台)
- ◆ USB マウス
- ◆ USB キーボード
- ◆ マイクロフォンおよびスピーカー

コンピューター

製品に接続するコンピューターには以下のハードウェア環境が必要です。

- ◆ DVI ポート(2 ポート)
- ◆ DVI ポート(4 ポート。クワッドディスプレイ(DCC モード)を使用する場合)

注意: 表示画質は DVI ディスプレイカードの品質に影響されますので、最適な状態で表示するためにも高品質のディスプレイカードをご用意ください。

- ◆ USB タイプ A ポート
- ◆ オーディオポート (オプション)

ケーブル

CS1642A

USB DVI-D デュアルリンク KVM ケーブル(1.8m)、DVI デュアルリンクケーブル(1.8m)がそれぞれ 2 本同梱されています。

CS1644A

USB DVI-D デュアルリンク KVM ケーブル(1.8m)、DVI デュアルリンクケーブル(1.8m)がそれぞれ 4 本同梱されています。

OS

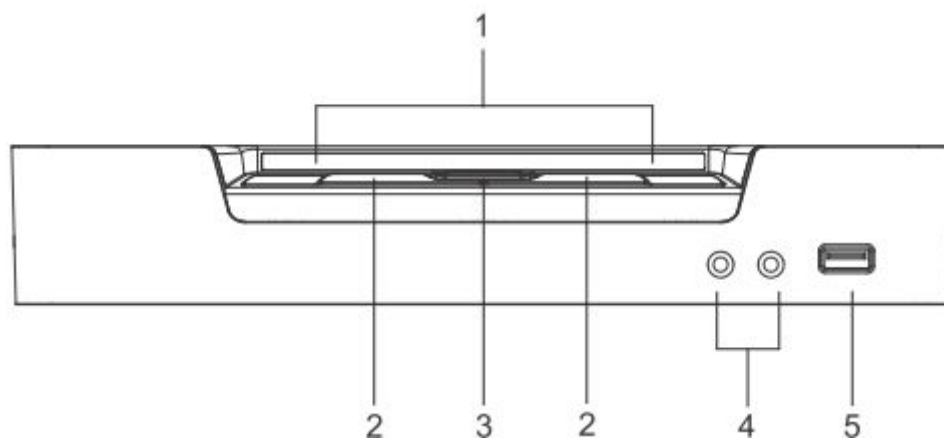
本製品には以下の OS を搭載したコンピューターを接続することができます。

OS		バージョン
Windows		2000 以降
Linux	Red Hat	9.0 以降、Fedora Core 4 以降
	SuSE	9.0 以降
UNIX	AIX	4.3 以降
	FreeBSD	4.2 以降
	Sun	Solaris 9 以降
Novell	Netware	6.0 以降
Mac		OS 9 以降
DOS		6.22 以降

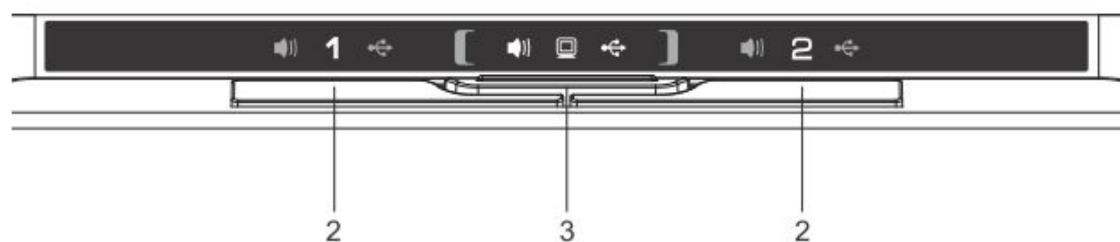
注意: Linux はカーネルのバージョンが 2.6 以降に対応しています。

製品各部名称

CS1642A フロントパネル

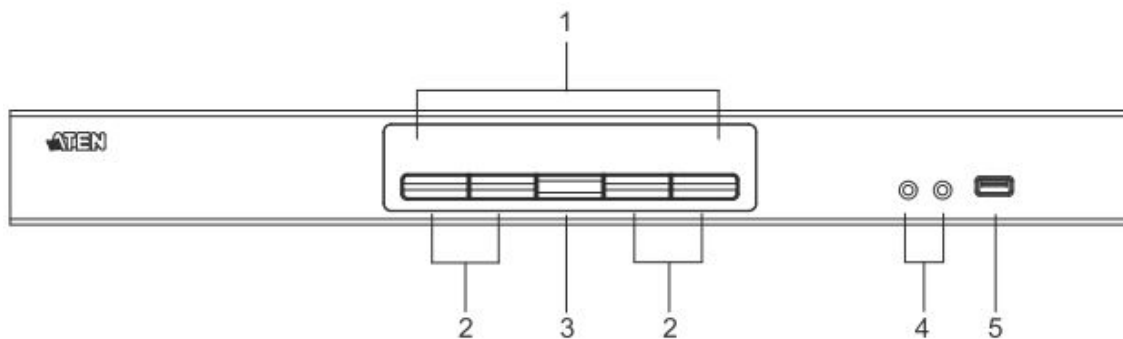


CS1642A LED ステータスパネル詳細

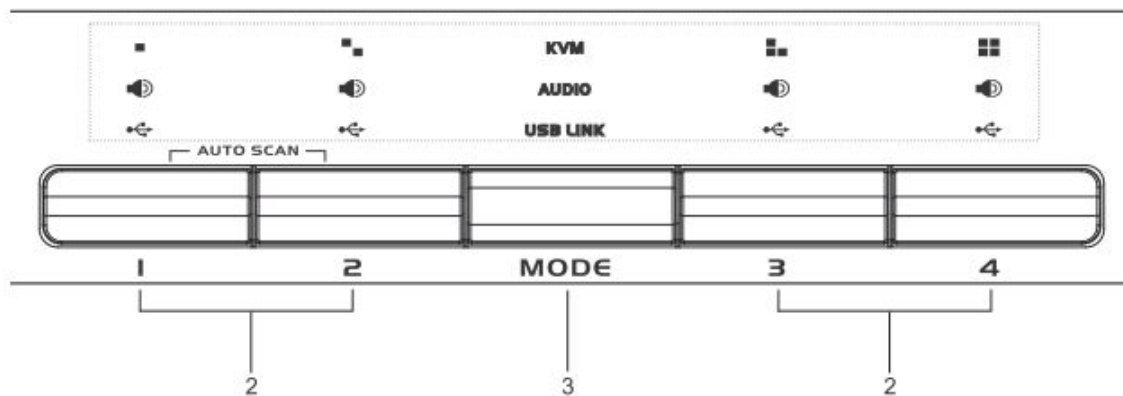


注意: モニターアイコンがついている部分はモード選択 KVM LED です。また、ポートナンバーがついている部分はポート選択 KVM LED として使用します。

CS1644A フロントパネル



CS1644A LED ステータスパネル詳細

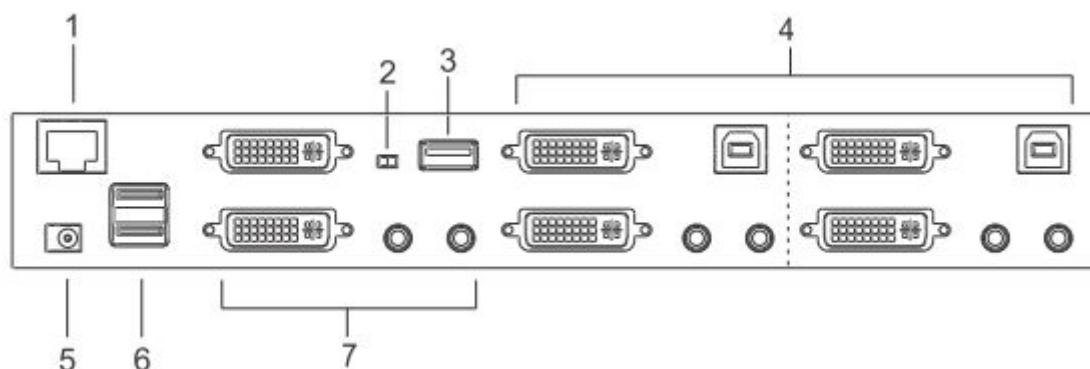


No.	名称	説明
1	LED ステータスパネル	このパネルでは LED アイコンでモードとポートの状態を表します。モード/ポート選択ボタンは、 KVM、オーディオ、USB の状態を対応 LED アイコンで表します。
2	ポート選択ボタン	<p>手動でポート選択を行う場合は、以下の操作方法に従ってください(p.28 参照)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 特定のコンピューターにオーディオ、KVM、USBをすべて切り替える場合は、下記のいずれかの方法で操作を行ってください。 <ul style="list-style-type: none"> a) そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。 b) モードボタンを1回だけ押して(モードボタンの3つのアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。ポートアイコンが3つとも点灯します。 ◆ 特定のコンピューターに KVM 操作だけを切り替える場合は、モードボタンを2回押して(モードボタンのKVMアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートの KVM アイコン(ポート番号)が点灯します。 ◆ 特定のコンピューターにオーディオだけを切り替える場合は、モードボタンを3回押して(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。 ◆ 特定のコンピューターにUSBだけを切り替える場合は、モードボタンを4回押して(モードボタンのUSBアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートのUSBアイコンが点灯します。 ◆ ポート選択ボタンの1と2を同時に2秒以上押すと、オートスキャンモードを開始します(p.33 参照)。

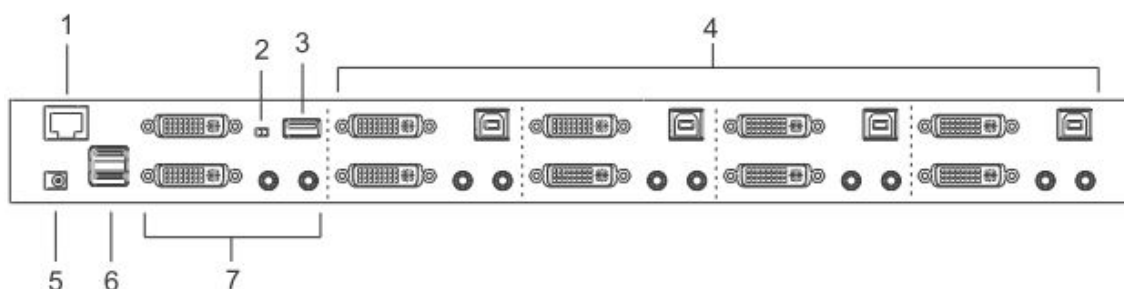
(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
2	ポート選択ボタン (続き)	注意: モードボタンを押して 2 秒以内にポートが選択されないと、モードボタンは OFF になります。
3	モード選択ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ポートの切替モードを、すべて→KVM→オーディオ→USB の順に切り替えます。 ◆ CS1642A/CS1644A の電源を入れる前にこのボタンを押したままにすると、ファームウェアアップグレードモードが有効になります。
4	コンソールオーディオポート	コンソールで使用するスピーカーやマイクはここに接続します。
5	USB2.0 ハブポート	USB2.0 に対応したデバイス(プリンター、スキャナー等)はここに接続します。

CS1642A リアパネル



CS1644A リアパネル



No.	名称	説明
1	DCC ポート(デジチーチェーンポート操作)	このRJ-45ポートはクワッドディスプレイ用にDCCモードをセットアップする際に2台のCS1642A/CS1644Aを接続するために使用します。詳細は p.26「クワッドディスプレイ(DCCモード)」を参照してください。
2	DCC スイッチ	このスイッチはクワッドディスプレイ DDC モードで2台のCS1642A/CS1644Aをセットアップする際にホストとクライアントを特定するのに使用します。詳細は p.26「クワッドディスプレイ(DCCモード)」を参照してください。
3	USB2.0 ハブポート	USB2.0に対応したデバイス(プリンター、スキャナー等)を接続するポートです。

(表は次ページに続きます。)

No.	名称	説明
4	KVM ポートセクション	製品とコンピューターを接続するケーブルをここに接続します。各 KVM ポートセクションは、マイクジャック、スピーカージャック、USB タイプ B ポート、DVI-I コネクタ(2箇所)から構成されています。
5	電源ジャック	電源アダプターはこのジャックに接続します。
6	USB コンソールポート	USB キーボード、USB マウスをここに接続します。
7	コンソールポートセクション	コンソールとして使用するモニター、マイク、スピーカーを接続する部分です。各コネクタには該当するデバイスのアイコンが表示されています。

第2章

セットアップ



1. 機器の設置に際し重要な情報を p.6 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。
2. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピューターの電源ケーブルも抜いてください。

ケーブルの接続

製品をセットアップする場合は、p.25 の接続図(図内における番号は手順に対応)をご参照の上、以下の手順で作業してください。

1. USB キーボードと USB マウスを製品リアパネルの USB コンソールポートに接続してください。
2. コンソールモニター2 台を製品リアパネルの DVI コンソールポートにそれぞれ接続し、これらのモニターに電源を入れてください。
3. サブとなるマイクおよびスピーカーを、製品リアパネルのオーディオコンソールポートに接続してください。
4. メインで使用するマイクおよびスピーカーを、製品フロントパネルのマイク、スピーカーの各ジャックに接続してください。フロント、リアの両方にマイクやスピーカーが接続されている場合は、フロント側のものが優先的に使用されます。
5. USB DVI デュアルリンク KVM ケーブルの DVI コネクタを、製品 KVM ポートの DVI ポート A に接続し、同じケーブルに付属している USB、マイク、スピーカーの各コネクタを対応する USB、マイク、スピーカーの各ポートに接続してください。

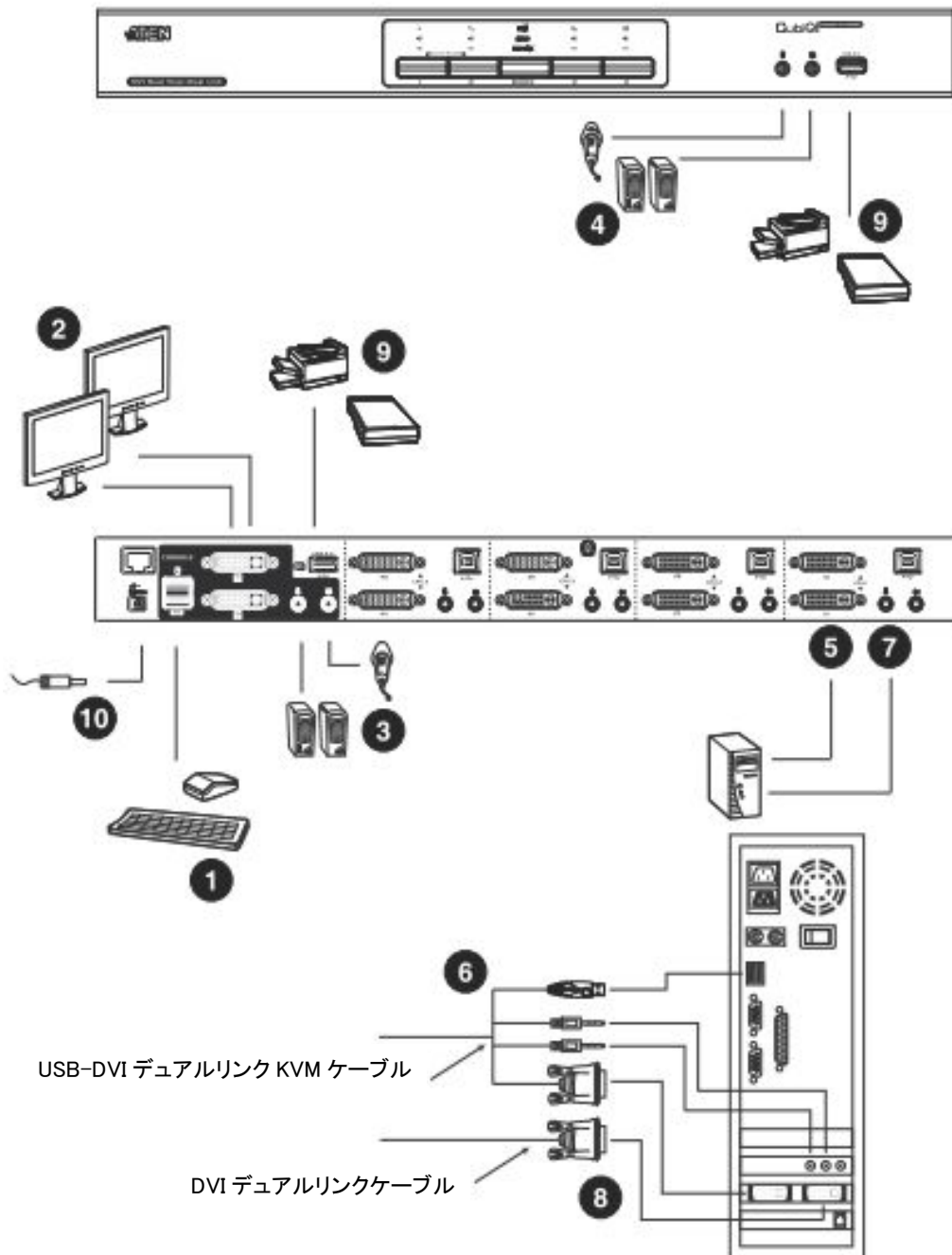
注意: 各コネクタは必ず同一の KVM ポートに接続してください。(例: DVI、USB、マイク、スピーカーの各コネクタをすべてポート 1 に接続) また、各ポートには該当デバイスのアイコンが表示されますので、接続時に参考にしてください。

6. USB DVI デュアルリンク KVM ケーブルの別の一端を、製品に接続するコンピューターの USB、モニター、マイク、スピーカーの各ポートに接続してください。
7. DVI デュアルリンクケーブルの DVI コネクタを、製品の同じ KVM ポートにある DVI ポート **B** に接続してください。
8. DVI デュアルリンクケーブルのもう片方の端を、製品に接続するコンピューターの DVI ポートに接続してください。

注意: 他にも製品に接続するコンピューターがある場合は、手順 5～8 を繰り返してください。

9. USB デバイスを使用する場合は、製品フロントパネルまたはリアパネルの USB タイプ A ポートに接続してください。(フロントパネル、リアパネルにそれぞれ 1 箇所)
10. 同梱の電源アダプターを製品に接続し、その電源アダプターを電源に接続してください。
11. 製品に接続されているコンピューターに電源を入れてください。

接続図



クワッドディスプレイ(DCC モード)

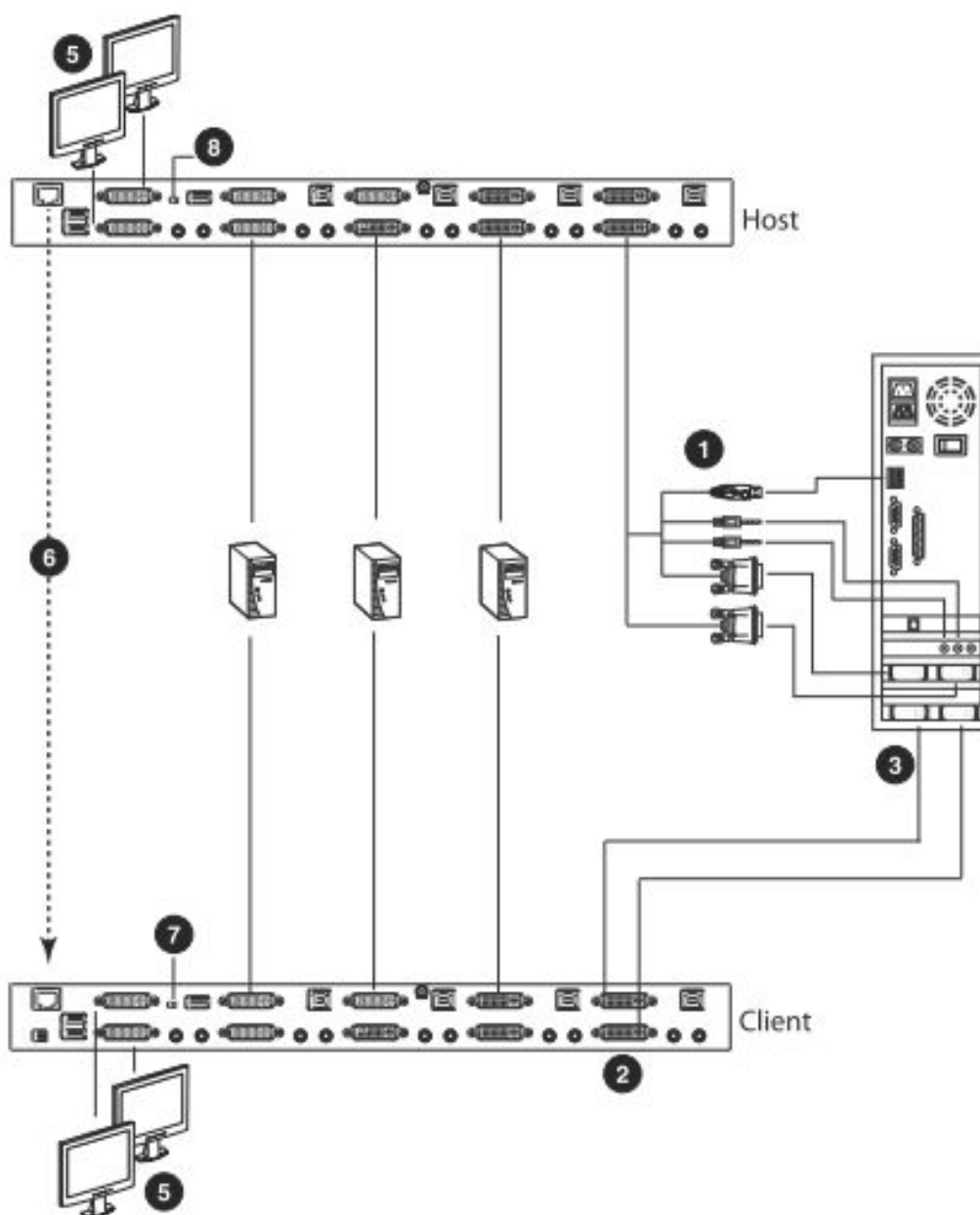
2 台の CS1642A/CS1644A を共に接続できる DCC モードを使用して、4 台のディスプレイを一致させるクワッドディスプレイ(4 画面マルチディスプレイ)へと拡張させることができます。

DCC モードを設定するには、全ての機器の電源を切ってから、次ページの接続図(図内における番号は手順に対応)をご参照の上、以下の手順で作業してください。

1. p.23「ケーブルの接続」に記載されたハードウェアセットアップ方法に従って、全てのコンピューターを「ホスト」に接続してください。
2. 「クライアント」には、専用 DVI デュアルリンクケーブルを 2 本使用して、DVI コネクターを製品の同じ KVM ポートセクションにある DVI ポート A と B に接続してください。
3. 2 本の DVI デュアルリンクケーブルのもう片方の端を、製品に接続するコンピューターの DVI ポートに接続してください。
4. 全てのコンピューターに対し、手順 2 と 3 を繰り返してください。
5. コンソールモニターを「ホスト」と「クライアント」のリアパネルにある DVI コンソールポートに接続してください。
6. RJ-45 ケーブル(ストレートケーブル)を使用して、「ホスト」の DCC ポートを「クライアント」の DDC ポートに接続してください。
7. 「クライアント」のリアパネルにある DCC スイッチを「**Client**」(クライアント)*に設定してください。
8. 「ホスト」のリアパネルにある DDC スイッチを「**Host**」(ホスト)に設定してください 26。
9. 接続機器に電源を入れます。「ホスト」と「クライアント」に電源アダプターを接続して、両機に電源を入れてください。両機が起動したら、コンピューター/ビデオソースデバイスの電源を入れてください。

-
- 注意:
1. DCC モードでは、「クライアント」のフロントパネルにあるプッシュボタンは無効となり、「ホスト」からのコマンド全てを直接受けるようになります。
 2. DCC スイッチを「クライアント」に設定すると、その製品のフロントパネルにあるプッシュボタン全てが無効となります。
-

クワッドディスプレイ接続図



第3章

基本操作

手動切替

コンピューターの切替方法として、フロントパネルのポート選択ボタンの手動操作と、キーボードからのホットキー入力の2種類の方法があります。ホットキーによるポート切替については次章で説明します。

ポートの手動切替の方法は以下のとおりです。

- ◆ 特定のコンピューターに**オーディオ、KVM 操作、USB** をすべて切り替える場合は、下記のいずれかの方法で操作を行ってください。
 - a) そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。
 - b) モードボタンを**1回**だけ押して(モードボタンの3つのアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。ポートアイコンが3つとも点灯します。
- ◆ 特定のコンピューターに**KVM 操作**だけを切り替える場合は、モードボタンを**2回**押して(モードボタンの KVM アイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートの KVM アイコン(ポートナンバー)が点灯します。
- ◆ 特定のコンピューターに**オーディオ**だけを切り替える場合は、モードボタンを**3回**押して(モードボタンのオーディオアイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートのオーディオアイコンが点灯します。
- ◆ 特定のコンピューターに**USB**だけを切り替える場合は、モードボタンを**4回**押して(モードボタンの USB アイコンが点灯)、そのコンピューターに対応したポート選択ボタンを押してください。そのポートの USB アイコンが点灯します。
- ◆ ポート選択ボタンの1と2を同時に2秒以上押すと、オートスキャンモードを開始します。

-
- 注意:**
1. 任意のポート選択ボタンを押すと、オートスキャンモードを停止し、そのときに押されたボタンに対応したポートに KVM 操作が切り替わります。
 2. モードボタンを押して 2 秒以内にポートが選択されないと、モードボタンは OFF になります。
-

ホットプラグ

CS1642A/CS1644A は USB のホットプラグに対応しています。ケーブルをつなぎかえるだけで、製品をシャットダウンすることなくキーボードやマウス等の取り付け/取り外しが可能です。

電源 OFF および再起動

製品の再起動が必要な場合は、再起動を行う前に以下の作業を必ず行ってください。

1. 製品に接続されているすべてのコンピューターをシャットダウンしてください。
2. 製品から電源アダプターを外してください。
3. 10 秒ほど待機し、製品に電源アダプターを接続し直してください。
4. 製品に電源が入ったことを確認したら、接続されている各コンピューターの電源を入れてください。

ポート ID の割り当て

CS1642A/CS1644A の KVM ポートにはそれぞれ固有のポートナンバーが割り当てられます。(CS1642A は 1 と 2、CS1644A は 1～4) 各ポートのポートナンバーは製品リアパネルに記されています(p.21 参照)。

コンピューターのポート ID は、そのコンピューターが接続している KVM ポートのポートナンバーと同じです。例えば、KVM ポート 2 に接続しているコンピューターのポート ID は 2 となります。

ポート ID は、ホットキーを使って KVM 操作、USB デバイス、オーディオの操作を切り替える際に必要となります(p.31「ポート切替」参照)

第4章

キーボードによるポート操作

本製品には、拡張性に富み、操作性の高い便利なホットキー機能を搭載しており、このホットキー機能の操作と設定はすべてキーボードから行います。KVM 操作・USB・オーディオの独立切替もホットキーで操作可能ですので、ポート1でKVM操作をしながら、ポート2ではUSBハブを使用し、ポート3と4ではオーディオを使用するといった使い方も可能です。

ポート切替

ホットキーによるポートの切替は、すべて[Scroll Lock]キー2度押しから開始します。以下の表は各ホットキーの操作内容について説明したものです。

注意： [Scroll Lock]キーが他のアプリケーション操作と競合を起こしている場合、ホットキー設定モードにて、[Ctrl]キーに設定変更をすることが可能です。詳細は p.35 をご参照ください。

ポート切替(サイクル切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [Enter]	KVM 操作、USB ハブ、オーディオ のすべてを現在 KVM 操作ができるポートから次のポートに同時に切り替えます。切替順は以下のとおりです。 CS1642A: 1→2→1→2→…… CS1644A: 1→2→3→4→1→2→……
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [K] [Enter]	KVM 操作のみ を次のポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [U] [Enter]	USB ハブのみ を次のポートに切り替えます。KVM 操作およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [S] [Enter]	オーディオのみ を次のポートに切り替えます。KVM 操作および USB ハブ選択は現在のポートのままです。

ポート切替(ダイレクト切替)

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [Enter]	KVM 操作、USB ハブ、オーディオのすべてを同時に指定したポート ID に対応するポートに切り替えます。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [Enter]	KVM 操作のみを指定したポートに切り替えます。USB ハブおよびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [Enter]	USB ハブのみを指定したポートに切り替えます。KVM 操作およびオーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [S] [Enter]	オーディオのみを指定したポートに切り替えます。KVM 操作および USB ハブ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [U] [Enter]	KVM 操作および USB ハブを指定したポートに切り替えます。オーディオ選択は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [Enter]	KVM 操作およびオーディオを指定したポートに切り替えます。USB ハブは現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [U] [S] [Enter]	USB ハブおよびオーディオを指定したポートに切り替えます。KVM 操作は現在のポートのままです。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [n] [K] [S] [U] [Enter]	KVM 操作、USB ハブおよびオーディオをすべて指定したポートに切り替えます。 注意: [Scroll Lock][Scroll Lock][n][Enter]のホットキーでも同様の操作を行うことができます。

注意: 表中の **n** は、コンピューターのポート ID を表しております(1~4)。詳細については、p.30「ポートIDの割り当て」をご参照ください。また、ホットキーを実際にご利用になる際には、表中の **n** の部分に切替対象となるポート ID を適宜入力してください。

オートスキャン

オートスキャン機能は、一定間隔で自動的にポートを切り替えて表示します。この機能によって、手動で操作しなくても KVM スイッチに接続されたすべてのコンピューターの状態を監視することができます。ホットキー操作については以下の表をご参照ください。

ホットキー	機能
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM 操作が可能なポートが 5 秒間隔 で切り替わります。5 秒間隔はデフォルト設定です。
[Scroll Lock] [Scroll Lock] [A] [n] [Enter]	オートスキャンモードを有効にします。KVM 操作が可能なポートが n 秒間隔 で切り替わります。

- 注意:**
1. **n** は CS1642A/CS1644A がオートスキャンを行う際のポートの切替間隔 (秒) を示します。**n** は、1~99 秒まで設定する事が可能です。
 2. オートスキャンモード有効時、オートスキャンで使用する操作以外のキーボード・マウスの機能が無効になります。通常のキーボード・マウス入力を行う場合には、オートスキャンモードを終了してください。
 3. オートスキャンモードの実行中は、表示内容がポートごとに切り替わりますが、このときオーディオと USB ハブのフォーカスは切り替わらず、オートスキャン開始時に選択されていたポートにとどまったままになります。
 4. オートスキャンモードを終了する場合は、**[Esc]**キーまたは**スペース**を押してください。

ホットキーセッティングモード

ホットキーセッティングモードではCS1642A/CS1644Aの設定を行います。すべての操作はホットキーセッティングモードを有効にしてから行います。

ホットキーセッティングモードの起動

ホットキーセッティングモードは以下の手順で実行してください。

1. [Num Lock]キーを押したままにします。
2. [-]キーを押して、すぐに離します。
3. [Num Lock]キーを離します。

注意: ホットキーセッティングモードは別のキー操作でも起動することができます。詳細については下記をご参照ください。

ホットキーセッティングモードが有効になると、キーボードの Caps Lock、Scroll Lock LED が交互に点滅します。ホットキーセッティングモードを終了するとLED は通常の状態に戻ります。

また、ホットキーセッティングモード中は、(次のセクションに記載した)HSM で有効な操作以外、通常のキーボード・マウス入力はすべて無効になります。

ホットキーセッティングモードでの操作は、コマンド実行後にホットキーセッティングモードが解除されるものと、継続するものがあります。手動でホットキーセッティングモードを終了するには、[Esc]キーまたはスペースキーを押してください。

ホットキーセッティングモードの起動代替キー

デフォルトのホットキーセッティングモード起動キー入力 ([Num Lock]+[-]) がコンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合は、[Ctrl]+[F12]というキー入力でホットキーセッティングモードを起動することもできます。

設定を変更する場合には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [H]キーを押します。

この操作によって、ホットキーセッティングモードで使用する[Num Lock]キーが[Ctrl]キーに、[-]キーが[F12]キーに変更されます。

注意: この操作は[Num Lock]+[-]、[Ctrl]+[F12]の組み合わせを交互に切り替えて設定します。デフォルトの[Num Lock]+[-]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[H] キーを入力してください。

ポート切替の代替キー

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キーがコンピューターで実行中の他のアプリケーションと競合を起こす場合は、[Ctrl]キーを使ってポート切替を行うこともできます。設定変更には以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [T]キーを押します。

注意: この操作は[Scroll Lock]、[Ctrl]を交互に切替えて設定します。デフォルトの[Scroll Lock]に戻す場合は、もう一度ホットキー設定モードにて[T]キーを入力してください。

キーボード設定

CS1642A/CS1644A に接続するキーボードのキーマッピングはデフォルトで PC 互換プラットフォーム (Win、Linux) に設定されています。例えば、コンソールに接続しているキーボードが PC 用キーボードで、CS1642A/CS1644A に Mac または Sun のコンピューターが接続されている場合、PC 互換キーボードで Mac または Sun キーボードをエミュレーションするように CS1642A/CS1644A 側で設定を行うことができます。この機能をご利用になる場合は、以下の操作で設定変更を行ってください。

1. キーボード設定を行いたいポートを選択します。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
3. プラットフォームに合わせた設定のファンクションキーを入力します (下表参照)。
ファンクションキー入力後、ホットキーセッティングモードは自動的に終了します。

ファンクションキー	機能
[F2]	Mac キーボードエミュレーションを有効にします (p.43 参照)。
[F3]	Sun キーボードエミュレーションを有効にします (p.44 参照)。
[F10]	キーボード OS を自動検出します (PC 互換機用)。パススルーキーボードモードを有効にします (キー入力の信号は、Mac や Sun 等のエミュレーターを介することなくコンピューターに直接送られます。)

ホットキー設定の表示

現在のホットキー設定を表示するには、以下の操作を行ってください。

1. テキストエディター、またはワープロソフトを開き、ペースト機能が使えるようにしておきます。
2. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
3. [F4] キーを押すと、設定が表示されます。

USB リセット

USB デバイスがコントロールを失いリセットする必要がある場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [F5]キーを押します。

ビープ音の設定変更

ポート切替時に出力されるビープ音を有効または無効にするには以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [B]キーを押します。

この操作でビープ音が ON または OFF に切り替わります。

ポート切替ホットキーの無効化

ポート切替に使用する[Scroll Lock]キー2 度押し(または[Ctrl]キー2 度押し)を無効にしたい場合は、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [X] キーを押してから[Enter]キーを押します。

注意: 無効にしたキー入力を元に戻す場合にはもう一度この操作を行ってください。

ファームウェアアップグレードモード

製品のファームウェアアップグレードを行う場合は以下の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. キーボードで *upgrade* と入力します。
3. [Enter]キーを押します。

この操作を行うとフロントパネルの LED が点滅し、ファームウェアアップグレードモードで動作中であることを示します。

注意: ファームウェアアップグレードモードを終了する場合は、スイッチの電源をオフにしてください。

デフォルト設定の復元

本製品のホットキー設定をすべてデフォルトの状態に戻すには、以下の操作を行ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [R]キーを押してから [Enter]キーを押します。

この操作によりすべての設定変更がリセットされ、デフォルトの状態に戻ります。

ビデオダイナシク機能

本製品はコンソールモニターの EDID 情報を保存し、表示解像度を最適化するビデオダイナシク機能を搭載しています。この機能を利用する場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします (p.34 参照)。
2. [D]キーを押します。

キーボードエミュレーション

キーボードエミュレーションを有効、または無効にする場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [N]キーを押します。

マウスエミュレーション

マウスエミュレーションを有効、または無効にする場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [M]キーを押します。

マウスによるポート切替

マウスのホイールボタンを2回クリックしてポート切替を行うことができます。このマウスによるポート切替を有効にするには、マウスのエミュレーションを有効にしなければなりません。マウスによるポート切替を有効、または無効にする場合は、以下の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [W]キーを押します。

SPC モード

特殊な OS 環境においてキーボード/マウスを標準(104 キー)キーボード/マウスとして使用できるように、SPC モードを使って設定を行う場合は、次の手順で操作してください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [F1]キーを押します。

フロントパネルプッシュボタン 1 と 2

通常オートスキャンの起動に使用するフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせ(プッシュボタン 1 と 2 を押したままにすること)で、他のホットキーを起動させるようにカスタマイズすることができます。このフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせによるホットキーの割り当てを変更するには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [C]キーを押します。
3. p.41「ホットキーセッティングモード一覧」から使用したいホットキーを選択して、それを入力してください。

注意:

1. フロントパネルのプッシュボタン 1 と 2 を元のオートスキャンの起動に割り当てるには、手順 3 で、[A]を入力してください。
2. [X][Enter]、[R][Enter]および[upgrade][Enter]のホットキーはこのフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせに割り当ててはできません。

フロントパネルプッシュボタン 3 と 4

通常 KVM のリセットに使用するフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせ(プッシュボタン 3 と 4 を押したままにすること)で、他のホットキーを起動させるようにカスタマイズすることができます。このフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせによるホットキーの割り当てを変更するには、下記の手順に従ってください。

1. ホットキーセッティングモードを有効にします(p.34 参照)。
2. [C] [2]キーを押します。
3. p.41「ホットキーセッティングモード一覧」から使用したいホットキーを選択して、それを入力してください。

注意:

1. フロントパネルのプッシュボタン 3 と 4 を元の KVM のリセットに割り当てるには、手順 3 で、[F5]を入力してください。
2. [X][Enter]、[R][Enter]および[upgrade][Enter]のホットキーはこのフロントパネルのプッシュボタンの組み合わせに割り当ててはできません。

ホットキーセッティングモード一覧

ホットキーセッティングモード(p.34 参照)を有効にした後、追加で入力するキーとその機能は以下の表のとおりです。

キー	機能
[F1]	特殊な OS 環境においてキーボード/マウスを標準(104 キー)キーボード/マウスとして使用できるように、SPC モードを使って設定します。
[F2]	キーボードマッピングを Mac 対応に設定します。
[F3]	キーボードマッピングを Sun 対応に設定します。
[F4]	現在のホットキー設定をコピーし、テキストエディターにペーストします。
[F5]	USB キーボードとマウスをリセットします。
[F6] [n] [n] [Enter]	キーボード言語を設定します。[n][n]は、キーボード言語コード (US 英語:33、フランス語:08、ドイツ語:09、日本語:15)を表す 2 桁の数字です。
[F10]	キーボードエミュレーションマッピングを無効にします。キー入力の信号はそのままコンピューターに送られます。
[B]	ビープ音のオン/オフを切り替えます。
[C]	フロントパネルプッシュボタンの組み合わせ(プッシュボタン 1 と 2 を押したままにする)に割り当てるホットキーを変更します。
[C] [2]	フロントパネルプッシュボタンの組み合わせ(プッシュボタン 3 と 4 を押したままにする)に割り当てるホットキーを変更します (CS1644A のみ)。
[D]	コンソールモニターの EDID の情報を保存し、ポート切替時の表示解像度を最適化するビデオダイナシンク機能を有効にします。
[E]	電源検知機能を有効/無効にします。
[H]	ホットキーセッティングモード起動キーをデフォルトと代替の間で切り替えます。
[M]	マウスエミュレーション機能を有効/無効にします。
[N]	キーボードエミュレーション機能を有効/無効にします。
[R] [Enter]	ホットキー設定をデフォルトに戻します*。
[T]	ポート切替キーをデフォルトと代替の間で切り替えます。

(表は次ページに続きます。)


キー	機能
[u] [p] [g] [r] [a] [d] [e] [Enter]	ファームウェアアップグレードモードを起動します*。
[W]	マウスによるポート切替機能を有効/無効にします。有効の場合、マウスのホイールを 2 回クリックすると、ポートを切り替えます。また、マウスエミュレーションを有効にしなければなりません。
[X] [Enter]	ポート切替キーを有効/無効にします*。
[ホイール] [ホイール]	マウスによるポート切替機能が有効になっている場合、マウスホイールをダブルクリックすると、次のポートに切り替わります。
[Esc]またはスペースキー	ホットキーセッティングモードを終了します。

* フロントパネルのプッシュボタンの組み合わせに割り当てることができないホットキーです。

第5章 キーボードエミュレーション

Mac キーボードエミュレーション



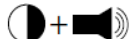




コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Mac キーボードの特殊キーが使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Mac キーボード
[Shift]	Shift
[Ctrl]	Ctrl
	
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Alt]	Alt
[Print Screen]	F13
[Scroll Lock]	F14
	=
[Enter]	Return
[Backspace]	Delete
[Insert]	Help
[Ctrl] 	F15

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー ([Ctrl]キー)を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

Sun キーボードエミュレーション

コンソールが PC 互換キーボード(101/104 キー)であっても、エミュレーション機能により Sun キーボードの特殊キーを使用可能になります。詳細は下記の表をご参照ください。

PC 互換キーボード	Sun キーボード
[Ctrl] [T]	Stop
[Ctrl] [F2]	Again
[Ctrl] [F3]	Props
[Ctrl] [F4]	Undo
[Ctrl] [F5]	Front
[Ctrl] [F6]	Copy
[Ctrl] [F7]	Open
[Ctrl] [F8]	Paste
[Ctrl] [F9]	Find
[Ctrl] [F10]	Cut
[Ctrl] [1]	
[Ctrl] [2]	
[Ctrl] [3]	
[Ctrl] [4]	
[Ctrl] [H]	Help
	Compose
	

注意: 入力の際は同時に押すのではなく、最初のキー ([Ctrl]キー) を押してすぐに離し、その後アクティベーションキーを押してすぐに離してください。

第6章

ファームウェアアップグレード ユーティリティ

Windows ベースのファームウェアアップグレードユーティリティ(FWUpgrade.exe)は、スムーズかつ簡単な操作で CS1642A/CS1644A のファームウェアをアップグレードすることができます。

ファームウェアアップグレードパッケージはデバイス別に用意されています。新しいファームウェアパッケージは弊社 Web サイトで公開されます。機器を最新の状態に保つために、定期的に弊社 Web サイトをご覧ください。<http://www.atenjapan.jp>

アップグレードの前に

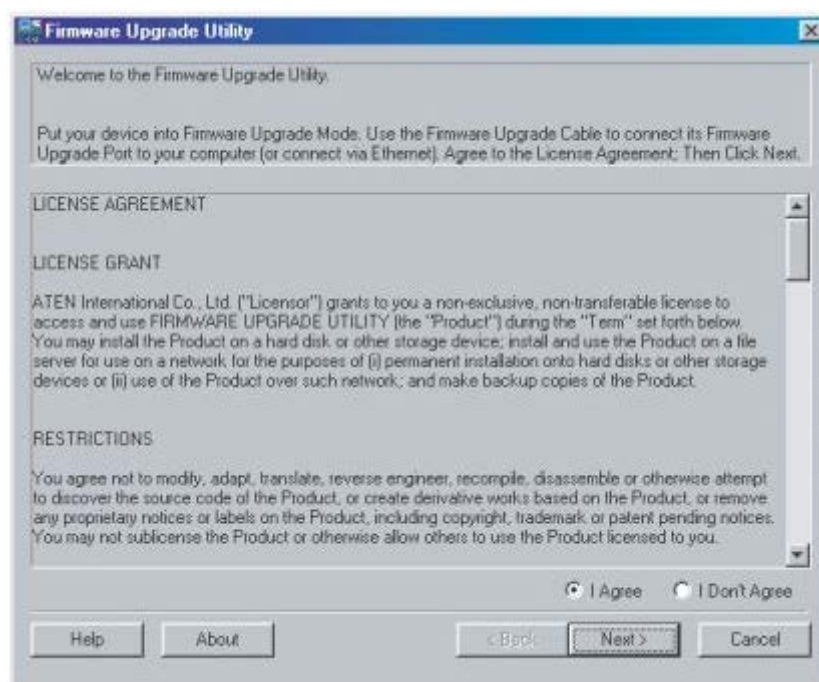
ファームウェアアップグレードの前に以下の手順に従って準備を行ってください。

1. 弊社 Web サイトにアクセスして製品型番(CS1642A/CS1644A)で検索し、ファームウェアのリストからの最新版パッケージを選択してください。
2. 最新版パッケージを選択して、CS1642A/CS1644A のポート番号 1 に接続されたコンピューターにダウンロードしてください。
3. DCC モードでセットアップしている場合は、2 台の CS1642A/CS1644A の DCC ポートに接続しているケーブルを外して、両機の DCC スイッチを「Host」に設定してください。
4. CS1642A/CS1644A のポート 1 以外に接続しているコンピューター全てをシャットダウンしてください。
5. ファームウェアアップグレードモードを起動してください(p.38「ファームウェアアップグレード」参照)。フロントパネルの LED が共に点滅してファームウェアアップグレードモードが動作中であることを表します。

アップグレードの開始

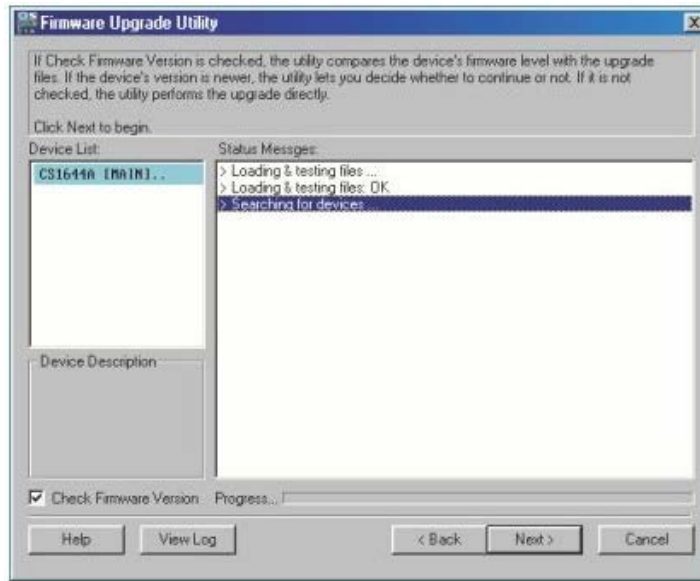
以下の手順に従ってアップグレード作業を進めてください。

1. ダウンロードしたファームウェアアップグレードパッケージをダブルクリックするか、またはコマンドラインでフルパスを入力して実行します。以下のようなライセンス認証確認画面が表示されます。



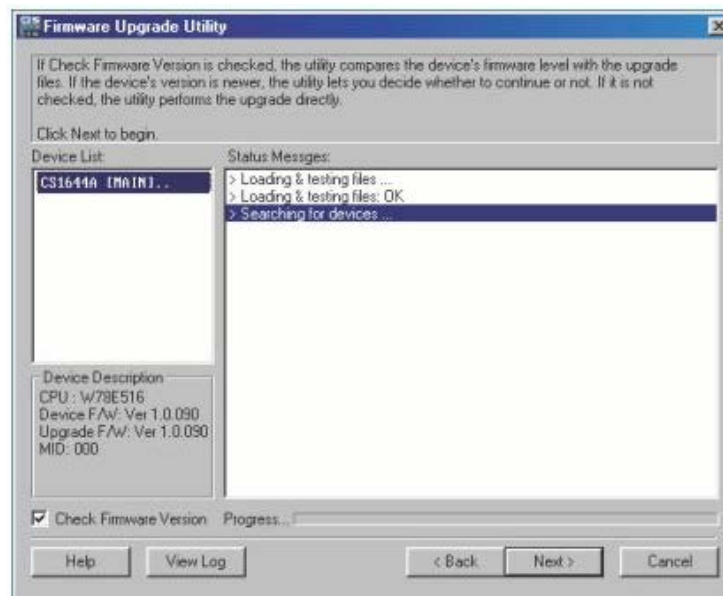
注意: 実際に表示される確認画面は、このスクリーンショットと異なる場合があります。

2. ライセンス規約に同意したら「I Agree」ラジオボタンをオンにします。
3. 「Next」ボタンを押して次に進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。

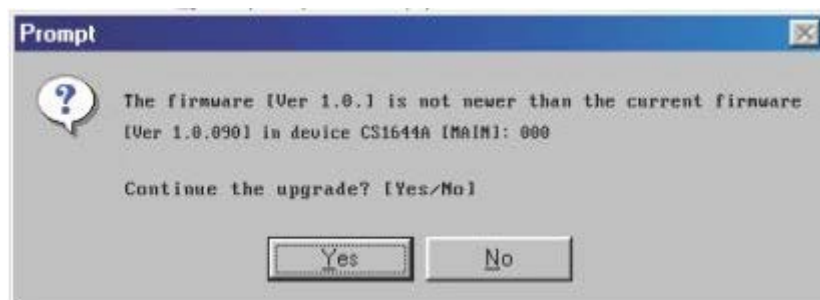


ファームウェアアップグレードユーティリティは、お使いのCS1642A/CS1644Aの環境を自動検出し、そのパッケージでアップグレード可能なデバイスの一覧を「Device List」フィールドに表示します。

4. 「Device List」フィールドで選択されたデバイスの詳細が、画面左下の「Device Description」パネルに表示されます。



5. デバイスを選択後、「Next」ボタンをクリックしてアップグレードを実行します。



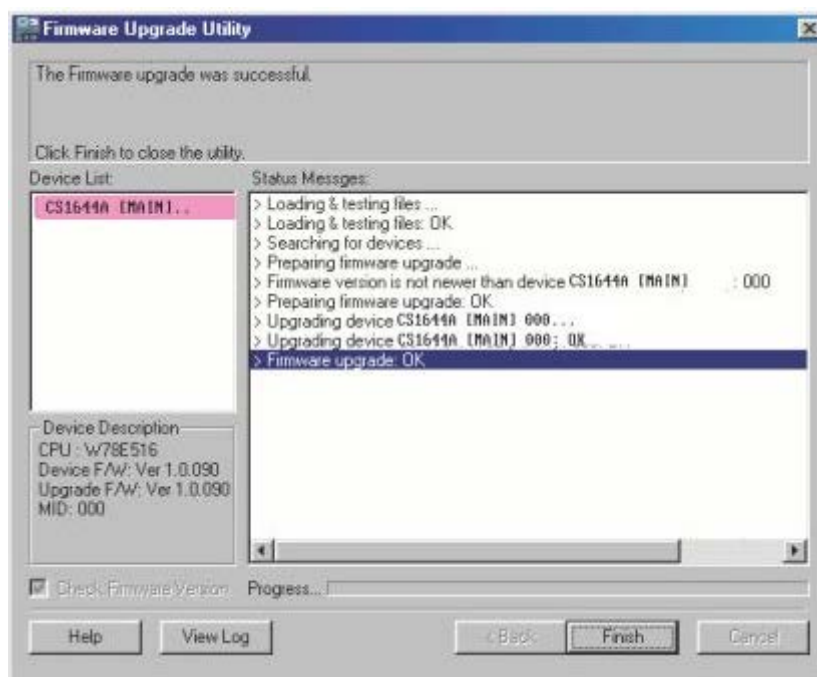
ここで「Check Firmware Version」にチェックが入っている場合、ユーティリティは現在のファームウェアバージョンとアップグレードパッケージのバージョンを比較します。もし現在製品で使用されているバージョンがこのアップグレードパッケージよりも新しい場合は、このようなダイアログボックスが表示され、アップグレード実行継続/中止の確認を行います。

「Check Firmware Version」にチェックが入っていない場合、ユーティリティはバージョンを比較せずにアップグレードを行います。

アップグレードの進捗状況は「Status Messages」パネルと「Progress」バーに表示されます。

アップグレードに成功した場合

アップグレード完了後、アップグレード成功のメッセージが表示されます。



「Finish」ボタンを押してファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

ユーティリティ終了後、スイッチは自動的にファームウェアアップグレードモードを終了し、リセットを行います。

DCC モードを使用する場合、ケーブルを DCC ポートに再度接続してから、クライアントとなる KVM スイッチの DCC スイッチを元の「Client」の位置に戻すことを確認してください(p.26「クワッドディスプレイ(DCC モード)参照)。

アップグレードに失敗した場合

アップグレード成功画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に終了しなかったことを意味します。この場合、以下の手順で作業を行ってください。

1. CS1642A/CS1644A の電源アダプターを外して、CS1642A/CS1644A の電源を切ってください。
2. フロントパネルにあるモード選択ボタン(p.20「モード選択ボタン」参照)を押したままにしてCS1642A/CS1644A に電源を入れてください。このとき、LED がオレンジ色に点滅します。
3. ファームウェアのアップグレードを最初からやり直してください。

付録

製品仕様

機能		CS1642A	CS1644A
コンピューター接続数		2	4
コンソール接続数		1	
コンピューター側 対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
コンソール側 対応インターフェース	キーボード	USB	
	マウス		
ポート選択方法		ホットキー、マウス、プッシュボタン	
コンピューター側 コネクタ	キーボード/ マウス	USB タイプ B メス×2	USB タイプ B メス×4
	モニター	DVI-I メス×4	DVI-I メス×8
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス ×2	ミニオーディオジャックメス ×4
	マイク	ミニオーディオジャックメス ×2	ミニオーディオジャックメス ×4
コンソール側 コネクタ	キーボード	USB タイプ A メス×1	
	マウス	USB タイプ A メス×1	
	モニター	DVI-I メス×2	
	スピーカー	ミニオーディオジャックメス×1	
	マイク	ミニオーディオジャックメス×1	
スイッチ	ポート選択	プッシュボタン×3	プッシュボタン×5
	DCC ポート	スライドスイッチ×1	
DCC ポート		RJ-45×1	
USB2.0 ハブ		USB タイプ A メス×2	
電源ジャック		DC 電源ジャック×1	
キーボード・マウスエミュレーション		USB	
スキャンインターバル		1~99 秒(ユーザー設定)/5 秒(デフォルト)	

(表は次ページに続きます。)

機能		CS1642A	CS1644A
電源仕様(アダプター)		型番:0AD8-0605-24EG 入力:AC100V~240V 50~60Hz 出力:DC5.3V 2.4A	
消費電力		10.6W	12.19W
解像度		DVI デュアルリンク : 2,560×1,600@60Hz、 1,920×1,200@120Hz(3D ディスプレイ)	
動作環境	動作温度	0~50℃	
	保管温度	-20~60℃	
	湿度	0~80%RH、結露なきこと	
ケース材料		プラスチック、メタル	
重量		560g	2.32kg
サイズ (W×D×H)		262.3×76.8×45.6mm	432.4×154.1×44mm
同梱品		2L-7D02UD ケーブル (1.8m)×2 DVI デュアルリンクケーブ ル(1.8m)×2 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1	2L-7D02UD ケーブル (1.8m)×4 DVI デュアルリンクケーブ ル(1.8m)×4 電源アダプター×1 クイックスタートガイド×1
対応 KVM ケーブル		《USB-DVI デュアルリンク KVM ケーブル》 2L-7D02UD(1.8m) 2L-7D03UD(3m) 2L-7D05UD(5m) *注意:標準で USB-DVI デュアルリンク KVM ケーブル 2L-7D02UD が CS1642A は 2 本、CS1644A は 4 本 付属しています。	

トラブルシューティング

概要

操作上の問題は様々な理由によって起こります。問題が発生したら、まず、ケーブルが KVM スイッチおよびコンピューターの各ポートに正しく接続されていることを確認してください。

また、これらの問題は、ファームウェアのアップグレードの適用によって解決することがあります。現在お使いのバージョンが最新でない場合は、最新版のファームウェアを適用することを推奨します。詳細については p.45 の「ファームウェアアップグレードユーティリティ」をご参照ください。

症状	考えられる原因	対処
マウスやキーボードからの入力に反応しない。	誤った方法でマウスやキーボードのリセットを行った可能性があります。	コンソールポートからケーブルを一旦抜いて挿しなおしてください。
	製品本体のリセットが必要です。	製品に接続したすべてのデバイス・KVM スイッチの電源をオフにし、5 秒以上経過してから、再起動してください (p.23 の注意書き参照)。
USB ハブに接続したデバイスが反応しない。	USB リセットが必要です。	リアパネルに接続した USB デバイスのコネクタを接続し直してください。
	PC または OS が USB2.0 をサポートしていない可能性があります。	本製品は USB2.0 ハブを内蔵しておりますので、USB2.0 をサポートしていない PC や OS ではこのハブをご利用いただけません。
		USB2.0 をサポートしていない OS をお使いの場合、[F1] キーのホットキーを使ってキーボードやマウスをリセットすることができます。詳細は p.39 の「SPC モード」をご参照ください。

(表は次のページに続きます)

症状	考えられる原因	対処
デバイスが認識されない。(Windows)	Windows がデバイスを認識するタイミングに問題があったかもしれません。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピューターの USB ポートから KVM ケーブルを抜いてください。 2. [コントロールパネル]→[システム]→[ハードウェア]→[デバイスマネージャ]から不明なデバイスを削除してください。 3. KVM ケーブルを挿しなおしてください。Windows がデバイスを認識します。
DVI ビデオカードからの応答がない。	DVI ビデオカードがホットプラグに対応していない可能性があります。	一部の DVI ビデオカードはホットプラグをサポートしていません。このような場合は、コンピューターの電源を切り、DVI ビデオカードを接続し直して、そのコンピューターを再起動してください。
フロントパネルのプッシュボタンを押しても反応がない。	CS1642A/CS1644A のリアパネルにあるデイジーチェーンスイッチが「Client」(クライアント)に設定されている。	製品のリアパネルにあるデイジーチェーンスイッチを「Host」(ホスト)に設定してください。 デイジーチェーンスイッチは 2 台の製品を接続してクワッドディスプレイを行う場合にのみ、「Client」(クライアント)に設定できます。詳細は p.26「クワッドディスプレイ(DCC モード)」を参照してください。
フロントパネルのプッシュボタンを組み合わせるとホットキーを割り当てても動作しない。	ホットキーの中には、フロントパネルのプッシュボタンの組み合わせに割り当てることができないものがあります。	[X] [Enter]、[R] [Enter] および [upgrade] [Enter] のホットキーは、フロントパネルのプッシュボタンの組み合わせに割り当てることができません。他のキーを選択してください。